

《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》  
令和元年度施策 評価シート

評価コード 1

施策の方向	多様な主体に向けた広報啓発の推進
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	I	施策の方向	1	施策の内容	DVの根絶に向けた啓発の充実
当初予算額(千円)			10,752	決算額(千円)	32,003
事業の概要・目的	<p>1 多様な広報媒体を活用した効果的な広報啓発の充実                      県民一人ひとりがDVは人権侵害であることを認識し、DVに関する正しい理解を深めることができるよう、県民だより等県の広報誌やテレビ・ラジオなど、多様な広報媒体を活用した効果的な広報を実施し、市町村に対しても積極的な広報を働きかける。                      DVと児童虐待は密接に関連することから、広報啓発に当たっては、DV防止と児童虐待防止の啓発を関係部署が連携して実施し、啓発の効果を高めていく。</p> <p>2・3 DV防止キャンペーンの充実                      毎年11月12日から11月25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間を中心に自治会の協力を得てリーフレットを回覧・配布するとともに、街頭でDV防止キャンペーンを実施し、民間支援団体と協働してリーフレットや啓発グッズ等を配布することにより、DV防止に向けて県民一人ひとりの意識を高めていく。                      キャンペーンの実施に当たっては、児童虐待防止担当と合同で実施し、啓発の効果をより一層高める。</p>				
	数値目標など				
指標名等	-				
目標	-	実績	-		

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

<p>1・2 児童家庭課（DV対策班）【当初予算752千円・決算690千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月12日（火）そごう千葉店前広場、11月17日（日）ニッケコルトンプラザコルトン広場、12月7日（土）イオンモール八千代緑が丘において、県警、市、DV被害者支援団体、県内大学などの協力を得て街頭キャンペーンを実施した。3会場では県警音楽隊や市川市消防音楽隊の演奏会、チーバくんなどのキャラクターの出演、また、会場ではDV防止、児童虐待防止啓発のパネル展示、女性警察官による護身術の模範演技を行い、約6,000名にDV防止及び児童虐待防止の啓発物資等の配布を行った。</li> <li>・アパホテル東京ベイ幕張の協力を得て、客室窓の照明を利用した「NO!DV」の文字を表示する広報（パープルライトアップ）を実施（11月17日（日））し、ホテルロビーにおいて啓発チラシを配布した。</li> <li>・木更津かんらんしゃパーク キサラピアの協力を得て、パープルライトアップ（11月13日（水）、16日（土）、23日（土）、25日（月））を行った。</li> <li>・東京ドイツ村の協力を得て、パープルライトアップ（11月12日（火）～11月25日（月））を行った。</li> <li>・バスケットボールBリーグ千葉ジェッツふなばし（11月16日（土）、11月17日（日））、サッカーJリーグ柏レイソル（11月24日（日））、ジェフユナイテッド市原・千葉（11月24日（日））の協力を得て運動期間中に行われたリーグ戦のホームゲームにおいてオーロラビジョンにDV防止の画像を流す広報を行った。</li> <li>・船橋競馬場の協力を得てナイター競馬中のターフビジョンにDV防止の画像を流す広報（10月28日（月）～11月1日（金））、幕張メッセの協力を得て大型電光掲示板にDV防止の画像を流す広報（11月12日（火）～11月25日（月））を行った。</li> <li>・市町村を通じて啓発チラシ約95,000枚を自治会の回覧板を活用し供覧、配布した。</li> </ul>
--

### 3 児童家庭課（虐待防止対策推進室）【当初予算 10,000千円・決算 31,313千円】

#### (1) ラジオCMの放送：放送局 B a y F M

- ・児童虐待防止に関するCMを8月～3月にかけて計430回放送した。

#### (2) 啓発物品の作成・配布

- ・市町村を通じて、クリアファイルやリーフレット等の啓発物資約60,000部を、乳幼児の子育て家庭を中心に配布した。
- ・児童虐待防止対策に協力してくれる者に配布する為に、ピンズを40,000個作成し、各市町・イベントの際に配布した。

#### (3) 公共交通機関を用いた広報啓発の実施

##### ① 電車ドア上の広告掲示

- ・掲出機関：令和元年9月1日～令和2年3月31日
- ・掲出路線：総武線（千葉以东）、内房線、外房線、成田線、鹿島線、東金線

##### ② 京葉線トレインチャンネル

- ・放映期間 里親：令和元年10月7日～10月13日  
虐待：令和元年11月4日～11月10日
- ・放映路線：京葉線
- ・放映秒数：15秒

#### (4) 広報啓発イベントの実施

- ・10月の里親制度月間、11月の児童虐待防止月間を中心として計6回開催した。  
令和元年10月30日：J R 千葉駅バスロータリー付近  
令和元年11月3日：第15回ふなばし健康まつり、フクダ電子アリーナ広場  
令和元年12月20日：ハンドメイドフェスタ（幕張メッセ）  
令和2年2月25日：J R 柏駅東口デッキ上  
令和2年3月5日：J R 船橋駅バスロータリー付近

## (2) 評価（別紙視点参照）

### 1・2 児童家庭課（DV対策班）

- ・主要駅前のごとう千葉駅前広場や女性や家族連れの利用が多い大型ショッピングモールにて街頭キャンペーンを実施することで、様々な年代の女性、家族連れなど多く県民に啓発物資を配布することができた。
- ・サッカー、バスケットボールという若者に人気の高いスポーツの試合会場や、多くの人が集まる競馬場や幕張メッセなどで広報を行うことで、多くの県民に対して広報することができた。
- ・啓発チラシの回覧については、DVが社会問題化していることもあり、市町村からの配布希望も多く、予想より多く配布することができた。

### 3 児童家庭課（虐待防止対策推進室）

- ・各種のイベントにおけるブースの開設や、市町村を通じた配布により、多くの子育て家庭に対し、啓発物資を配布することができた。また、今年度は公共交通機関を利用した啓発にも取り組み、これまで以上に広報啓発の対象者を広げることができた。

## 3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

### <課題・改善すべき点>

#### 1・2 児童家庭課（DV対策班）

ターミナル駅前や家族連れの集客が見込めるショッピングモールでキャンペーンをすることで広報の効果が高まることから、今後も、場所、曜日、時間帯を勘案してキャンペーンを実施する。

#### 1・2 児童家庭課（虐待防止対策推進室）

- ・キャンペーンの内容が固定化しつつあることから、広報啓発の対象者が広がるよう、DVの広報啓発との連携の強化も含め、新たな取組を検討する必要がある。
- ・広報啓発は、11月のキャンペーンの時期が中心となっていることから、年間を通じた効果的な広報啓発について検討する必要がある。

### <今後の方針>

1・2 DVと児童虐待は密接な関係にあることから、キャンペーン等においては引続き連携するとともに、より効果的な広報を実施し、DV・児童虐待防止に向けた機運を醸成していく。

## 4 委員意見

- ・幅広い世代を対象に様々な形で広報啓発を行っていることは評価できる。
- ・今後は「DV」という言葉だけではなく内容面の周知にも力をいれていくとよい。
- ・実際に有効であったか等の検証が必要であると思われるため、アンケートなどを実施し、効果検証をした上で、今後の施策に生かしてもらいたい。